

数え100歳 百寿のお祝い



満99歳を迎えた千葉勇太郎さん（☞伊里前）に10月20日（月）、町から百寿のお祝い金と花束が贈られました。

小山さんは生まれも育ちも南三陸町歌津地区で、6人の子ども、13人の孫、1人のひ孫に恵まれました。

歌うことが趣味で、その日は声量のある歌声で「仙台小唄」を披露してくださいました。以前は海産物を取り扱う仕事をしており、95歳まで1トントラックを運転していたそうです。元気の秘訣は適度な運動と無理をしないことだと話す千葉さん。朝や夕に家の周辺を毎日散歩しているそうです。これからも、ますます元気にお過ごしください。

仙台89ERSが今年も笑顔を届けた！

10月18日（土）と19日（日）の2日間、復興支援ゲームbjリーグ2014-2015シーズン公式戦「仙台89ERS対新潟アルビレックスBB」の試合がベイサイドアリーナで行われました。両日とも大勢の観客が訪れ、白熱した試合に会場が沸きました。ハーフタイムには、町内の小学生が89ERSと一緒にダンスパフォーマンスを披露し、元気いっぱいのダンスで会場をさらに盛り上げました。試合結果は、一日目が91-80で仙台の勝利、二日目が75-76と1点の僅差で惜敗となりましたが、選手たちはブザーがなるその最後まで、諦めず戦う姿を私たちにを見せてくれました。



感動をふたたび！

10月11日（土）、12日（日）の2日間、ZAOカップ9人制バレーボール大会が行われました。13年前に行われた「新世紀・みやぎ国体」の成年9人制バレー競技会場となった南三陸町総合体育館に、当時国体初優勝を果たしたりコーインダストリー東北（当時のチーム名：東北リコー）をはじめとする全国屈指の強豪チームが集結し、白熱したプレーが繰り広げられました。交流イベントとして志津川中学校との交流試合やバレーボール教室が行われました。バレーボール教室では、選手がマンツーマンでトスやアタックなどを指導し、子どもたちは熱心に取り組んでいました。



南三陸バレーボールスポーツ少年団女子の部で見事優勝

9月23日（火）に気仙沼市総合体育館で開催されました『第34回気仙沼・本吉地方スポーツ少年団種目別交流大会「バレーボールの部」』において、南三陸バレーボールスポーツ少年団が女子の部で見事優勝しました。



三疊紀の世界へ

9月20日（土）と21日（日）、歌津を舞台にフィールドミュージアムが行われました。

平成の森の受け付けでミュージアムマップをもらい、地層の観察や化石の探索に出かけます。そこでは、後期ペルム紀（約2億6000万年前）から中期三疊紀（約2億5200～2億4200万年前）までの地層を観察することができ、造成工事を行っている間だからこそ見られる地層がたくさんありました。また、実際にハンマーを持って発掘作業を行い、参加者は化石探しに夢中になっていました。



大葉でつながる豊川市

9月16日（火）、名物丼ぶり「キラキラ丼」に欠かせない大葉が4千枚、愛知県豊川市のJAひまわりと東三温室園芸農業協同組合から届けられました。豊川市は、震災直後から25人の職員を継続して派遣しており、1人は現在も派遣中で町での復興に携わっています。その中の職員が、さらなる応援と交流の継続を目的に、同市の農家に呼びかけたことから実現した今回の縁。さんさん商店街のフードコートにて飲食店組合へ大葉の進呈と大葉料理のお披露目が行われ、その後、役場町長室にて豊川産大葉の紹介がありました。震災で出来た縁から、新たな縁が生まれています。

